

2025/05/05

パレスティナ・イスラエル、ビジネスパートナーシップ計画 (第3案)

Palestine and Israel, Partnership Business Plan (the 3rd)

原案：捧 大地

第1 パレスチナの「将来」の「通貨名称 (案)」

パレスチナの「将来」の「通貨名称」を「Gaza¥」とすることを提案する。
紙幣の印刷局は、日本国の「国立印刷局」とする。

第2 パレスチナ・サッカースタジアムでの強豪国親善試合

サッカー強豪国同士を招いて、パレスチナ・サッカースタジアムにおいて親善試合を開催する。特別ルールとして、両国のOBを1試合限りの名誉監督とし、現行の監督は、1週間前からチームと接触を図ってはならない。現行監督同士は、試合を、TVゲスト解説として、解説者席から観覧する。試合直後にチームに再合流する。

なお、副案として、両チームの母国語によるサブ音声チャンネルの放送。イングランドを例にとると、ルーニー氏やガスコイン氏が「情熱解説」を務め、オーウェン氏やジェラード氏が「冷静解説」を務める。

第3 スエズ運河東岸からラファにかけてのエジプトの地中海沿岸エリア

エジプトが、日本に対して、スエズ運河東岸からラファにかけての地中海沿岸エリアを日本に賃貸する。同エリアを、日本が、国連に対して、再賃貸する。さらに、国連が、パレスチナに対して、同エリアを再々賃貸する。賃貸期間は、500年間とする。

第4 ガザからいわゆる「ヨルダン川西岸」を結ぶ地域

イスラエルが、杉原千畝の母国である日本に対して、ガザからいわゆる「ヨルダン川西岸」を結ぶ地域を、300年間、賃貸する。同地域を、日本が、国連に対して、300年間、再賃貸する。同地域については、パレスチナ人、及びイスラエル人は、パスポートの提示を必要とすることなく、自由に、通行できる。

なお、この地域に、日本及びイスラエル国民によるクラウドファンディングにより、イスラエル国内第1級のサッカースタジアムを建築する。

第5 副パスポート発行の提案

各国政府に提案したい。現行サイズの「正規パスポート」に加え、クレジットカードサイズの「副パスポート」の発行を提案する。

その方が、日常の移動において、利便性が高いからである。

以 上

本案の適切な場での「共有」をお願いいたします。